

第 28 回 問題 141 分類：鍼
豪鍼について誤っているものはどれか。

1. 5 番鍼の鍼体は 0.26mm である
2. 2 寸の鍼体長は 60mm である。
3. 鍼尖の形状の一つに卵型がある。
4. 鍼体長は鍼尖から鍼根までをいう。

第 27 回 問題 141 分類：鍼
2 番鍼の太さはどれか。

1. 0.14mm
2. 0.16mm
3. 0.18mm
4. 0.20mm

第 25 回 問題 141 分類：鍼
ステンレス鍼の特徴はどれか。

1. 刺入痛が少ない。
2. 曲がりやすい。
3. 酸化しやすい。
4. 低周波鍼通電療法に適する。

第 23 回 問題 141 分類：鍼
毫鍼について誤っているのはどれか。

1. 鍼体長は鍼根から鍼尖までをいう。
2. 3 番鍼は 20 号鍼である。
3. 1 寸 3 分の鍼体長は 50mm である。
4. 鍼尖の形状に松葉型がある。

第 21 回 問題 141 分類：鍼
ごう鍼の規格で正しい組合せはどれか。

1. 2 寸・5 番鍼 — 70mm24 号鍼
2. 1 寸 6 分・1 番鍼 — 50mm15 号鍼
3. 1 寸 3 分・2 番鍼 — 40mm16 号鍼
4. 1 寸・3 番鍼 — 30mm20 号鍼

第 26 回 問題 143 分類：刺入法
鍼施術の際にⅢ群線維が伝えるのはどれか。

1. 押手の上下圧
2. 鋭い切皮痛
3. 鍼の刺入圧
4. 重だるい響き感覚

第 24 回 問題 141 分類：刺入法
鍼法での刺入時に抵抗感が最も強い鍼尖の形状はどれか。

1. 卵型
2. ノゲ型
3. 柳葉型
4. 松葉型

第 23 回 問題 142 分類：刺入法
押手の周囲圧の目的はどれか。

1. 鍼体を保持する。
2. 刺鍼部の皮膚を圧迫する。
3. 押手がずれないようにする。
4. 筋肉の緊張状態をはかる。

第 20 回 問題 144 分類：刺入法
刺鍼の術式に関する説明で正しい記述はどれか。

1. 前揉法は鍼の遺感覚を除くために行う。
2. 押手の固定圧が弱いと鍼は倒れてしまう。
3. 管鍼法では弾入行為が切皮である。
4. 撚鍼法は鍼を左右に半回転ずつ交互にひねり刺入する。

第 25 回 問題 144 分類：鍼法
現在の小児鍼で接触鍼および摩擦鍼として用いるのはどれか。

1. いちよう鍼
2. ウサギ鍼
3. 振子鍼
4. ローラー鍼

第 23 回 問題 144 分類：鍼法
機械刺激と温熱刺激を同時に与えることができるのはどれか。

1. 吸角療法
2. 灸頭鍼法
3. 鍼通電療法
4. 皮肉鍼法

第 22 回 問題 141 分類：鍼法
古代九鍼で関節水腫の排液に用いられたのはどれか。

1. 長鍼
2. 大鍼
3. 鋒鍼
4. 鉞鍼

第 22 回 問題 144 分類：鍼法
特殊鍼法で水平刺するのはどれか。

1. 小児鍼法
2. 散鍼法
3. 灸頭鍼法
4. 皮内鍼法

第 21 回 問題 143 分類：鍼法
刺激時間を最も長くできるのはどれか。

1. 皮内鍼法
2. 鍼通電療法
3. 小児鍼法
4. 灸頭鍼法

第 20 回 問題 141 分類：鍼法
古代中国から伝来した鍼法はどれか。

1. 打鍼法
2. 管鍼法
3. 撚鍼法
4. 皮内鍼法

第 20 回 問題 145 分類：鍼法
耳鍼療法で使用しないのはどれか。

1. 鋒 鍼
2. 毫 鍼
3. 円皮鍼
4. 皮内鍼

第 19 回 問題 141 分類：鍼法
三稜鍼に相当する古代九鍼はどれか。

1. 大 鍼
2. 員 鍼
3. 員利鍼
4. 鋒 鍼

第 19 回 問題 143 分類：鍼法
小児鍼のうち接触鍼と摩擦鍼の両刺激を与えるのに最も適した鍼はどれか。

1. 集毛鍼
2. ウサギ鍼
3. 振子鍼
4. いちよう鍼

第 27 回 問題 143 分類：？
理学検査が陽性の病態に局所刺鍼が最も有効なのはどれか。
1. アプリヘンジョンテスト
2. ラックマンテスト
3. ストロークテスト
4. チェアテスト

第 28 回 問題 142 分類：手技
現行 17 手技で鍼を一方方向に回すのはどれか。
1. 細指術
2. 回旋術
3. 間歇術
4. 旋撚術

第 27 回 問題 142 分類：手技
刺鍼手技で呼気時に刺入し吸気時に止めるを繰り返し、目的深度まで刺入するのはどれか。
1. 随鍼術
2. 間歇術
3. 内調術
4. 乱鍼術

第 26 回 問題 141 分類：手技
次の文で示す刺鍼操作はどれを応用したものか。
「筋内での置鍼中に強い響き感覚と鈍痛を生じたので、その位置より少しだけ鍼を引き上げ、しばらく留置してから再び筋中まで刺入した後抜鍼したところ、鈍痛を軽減させることができた。」
1. 屋漏術
2. 随鍼術
3. 内調術
4. 間歇術

第 25 回 問題 142 分類：手技
鍼の術式で刺鍼時・抜鍼時に左右交互にひねりながら行うのはどれか。
1. 回旋術
2. 間歇術
3. 旋撚術
4. 乱鍼術

第 25 回 問題 143 分類：手技
鍼の術式のうち鍼管のみを用い、弾入の要領で鍼管を叩打するのはどれか。
1. 管散術
2. 細指術
3. 振せん術
4. 内調術

第 24 回 問題 142 分類：手技
刺鍼手技で目的深度までを 3 等分し、各深度で雀啄を行うのはどれか。
1. 間歇術
2. 乱鍼術
3. 屋漏術
4. 随鍼術

第 23 回 問題 143 分類：手技
刺入した鍼の角度を変える手技はどれか。
1. 乱鍼術
2. 鍼尖転移術
3. 副刺激術
4. 刺鍼転向術

第 22 回 問題 142 分類：手技
刺入した鍼の深度を変化させる術式はどれか。
1. 屋漏術
2. 示指打法
3. 振せん術
4. 内調術

第 22 回 問題 143 分類：手技
抜鍼困難時に用いるのはどれか。
1. 随鍼術
2. 副刺激術
3. 回旋術
4. 鍼尖転移術

第 21 回 問題 142 分類：手技
鍼を皮下に留め、押手と刺手と共に皮膚を輪状に動かす手技はどれか。
1. 回旋術
2. 旋撚術
3. 鍼尖転位術
4. 刺鍼転向術

第 20 回 問題 142 分類：手技
弾入だけを繰り返す刺法はどれか。
1. 細指術
2. 間歇術
3. 雀啄術
4. 屋漏術

第 20 回 問題 143 分類：手技
内調術の説明で正しいのはどれか。
1. 刺入した鍼の周囲の皮膚を鍼管で叩く。
2. 刺入した鍼の鍼柄を鍼管で叩く。
3. 刺入した鍼に再び鍼管をかぶせ鍼管の上端を叩く。
4. 鍼管の上端を叩くだけで鍼を使用しない。

第 20 回 問題 147 分類：手技
刺激量を鍼の上下動で調整する手技はどれか。
1. 旋撚術
2. 鍼尖転移術
3. 副刺激術
4. 雀啄術

第 19 回 問題 142 分類：手技
一定の深さに刺入した鍼に鍼管をかぶせて行う手技はどれか。
1. 副刺激術
2. 管散術
3. 内調術
4. 示指打法

第 28 回 問題 143 分類：有害事象
深刺により化膿性関節炎のリスクがある経穴はどれか。
1. 膏肓
2. 欠盆
3. 肩髃
4. 天宗

第 28 回 問題 144 分類：有害事象
患者の体動により抜鍼困難が生じた場合の対応として適切でないのはどれか。
1. 返し鍼を行う。
2. 副刺激術を行う。
3. 患者をリラックスさせる。
4. 筋緊張が緩解するまで待つ。

第 26 回 問題 142 分類：有害事象
経穴と深刺により損傷するリスクがある臓器との組合せで正しいのはどれか。

1. 右梁門 — 肝臓
2. 右陽綱 — 肺
3. 右大横 — 腎臓
4. 右欠盆 — 心臓

第 25 回 問題 146 分類：有害事象
迎え鍼を行う有害事象はどれか。

1. 気胸
2. 折鍼
3. 渋鍼
4. 脳貧血

第 25 回 問題 147 分類：有害事象
医療現場における肝炎・エイズの感染について正しいのはどれか。

1. A 型肝炎は血液を介して感染する。
2. エイズは食事で感染する。
3. 注射針の誤刺による感染が最も多い。
4. 1 回誤刺に対する感染成立の確率は C 型肝炎が最も高い。

第 24 回 問題 144 分類：有害事象
鍼治療後に起こった症状で気胸を疑うのはどれか。

1. 喘鳴
2. 血痰
3. めまい
4. 呼吸困難

第 24 回 問題 145 分類：有害事象
B 型肝炎患者の肩こりに対する鍼施術で正しいのはどれか。

1. 施術者はワクチン接種が法的に義務づけられている。
2. 刺入した鍼はウイルス付着物として扱う。
3. 抜鍼後、出血していなければ素手で後揉法を行ってもよい。
4. 鍼刺し事故の場合はすぐに酒精綿で圧迫する。

第 23 回 問題 145 分類：有害事象
鍼治療の絶対禁忌はどれか。

1. 血友病
2. 慢性閉塞性肺疾患
3. 三叉神経痛
4. 慢性胃炎

第 23 回 問題 146 分類：有害事象
有害事象と予防・処置の組合せで正しいのはどれか。

1. 刺鍼後の違和感 — 副刺激術
2. 抜鍼困難 — 返し鍼
3. 気 胸 — 丹念な揉捏
4. 鍼の抜き忘れ — 鍼管数と抜鍼数の照合

第 22 回 問題 145 分類：有害事象
刺鍼による気胸発生のリスクが最も低い経穴はどれか。

1. 天宗
2. 欠盆
3. 胸郷
4. 神堂

第 21 回 問題 144 分類：有害事象
同じ鍼刺激に対してより鋭敏なのはどれか。

1. 体質の虚弱な者より頑健な者
2. 青年より小児
3. 鍼治療の未経験者より経験者
4. 手足より背部

第 21 回 問題 145 分類：有害事象
膏こう穴に深刺した際の合併症で生じる可能性のある症状はどれか。

1. 空 咳
2. 発 熱
3. 下 痢
4. 腹 痛

第 19 回 問題 144 分類：有害事象
鍼の刺激に関する記述で正しいのはどれか。

1. 同じ刺入深度では細い鍼より太い鍼の刺激が弱い。
2. 同じ振幅では短時間雀啄より長時間雀啄の刺激が弱い。
3. 同じ刺入深度では素早い刺入より遅い刺入の刺激が弱い。
4. 同じ太さの鍼では浅い刺入より深い刺入の刺激が弱い。

第 19 回 問題 145 分類：有害事象
低周波鍼通電療法において誤っている記述はどれか。

1. 心臓を挟む形での電極配置を避ける。
2. 折鍼を予防するために直流電流を用いる。
3. 通電波形は短形派と棘形派がある。
4. 電極としてステンレス鍼を用いる。

第 19 回 問題 146 分類：有害事象
刺鍼による内出血が最も起こりにくいのはどれか。

1. 人工透析患者
2. 血友病患者
3. 胃癌患者
4. 再生不良性貧血患者

第 25 回 問題 145 分類：適応
NIH の合意形成声明書(1998 年 2 月最終版) で、鍼が有効とされるのはどれか。

1. 妊娠時の吐き気
2. 薬物中毒
3. テニス肘
4. 月経痛

第 24 回 問題 143 分類：適応
WHO の「鍼の基礎教育と安全性に関するガイドライン (1999 年)」において、鍼通電療法を行ってはいけないのはどれか。

1. ペースメーカーを使用している者
2. インプラントを使用している者
3. 人工関節を使用している者
4. スtent を使用している者

第 28 回 問題 145 分類：消毒
豪鍼の製造工程で滅菌に用いるのはどれか。

1. グルコン酸クロルヘキシジン
2. 塩化ベンザルコニウム
3. 酸化エチレングス
4. ポビドンヨード

第 27 回 問題 144 分類：消毒
単回使用毫鍼の滅菌に用いられるのはどれか。

1. EOG
2. 塩化ベンザルコニウム
3. ポビドンヨード
4. イソプロピルアルコール

第 23 回 問題 147 分類：消毒

鍼施術における感染症対策として最も有効なのはどれか。

1. エアータオル
2. クリーン・ニードル・テクニック
3. ペースン法
4. 逆性石けんを用いた手洗い

第 22 回 問題 146 分類：消毒

単回使用鍼の滅菌に用いられるのはどれか。

1. 酸化エチレングス
2. ポビドンヨード
3. グルコン酸クロルヘキシジン
4. 塩化ベンザルコニウム

第 21 回 問題 146 分類：消毒

鍼施術に関する消毒・滅菌に記述で正しいのはどれか。

1. 施術野の消毒には 90%エタノールが用いられる。
2. 単回使用ごう鍼の滅菌には EOG が用いられる。
3. 梅花鍼は洗浄して使用する。
4. イソプロピルアルコールは B 型肝炎ウイルスに有効である。

第 20 回 問題 146 分類：消毒

我が国の単回使用毫鍼について誤っている記述はどれか。

1. 構造は JIS で規定されている。
2. 無菌性が保証されている。
3. ホルマリンガスが充填されている。
4. 製造業者の表示が義務つけられている。

第 28 回 問題 146 分類：伝導路

内臓痛について誤っているのはどれか。

1. $A\beta$ 線維により伝達される。
2. 痛みの局在が不明瞭である。
3. 脊髄後角の広作動域ニューロンに接続する。
4. 関連痛の出現に関与する。

第 28 回 問題 147 分類：伝導路

痛覚の中枢内伝道路で情動行動、自律神経機能や痛みの制御の調節に関与すると考えられている。

1. 後索路
2. 脊髄網様体路
3. 前脊髄視床路
4. 新脊髄視床路

第 28 回 問題 149 分類：伝導路

鍼鎮痛の発現に関与する部位はどれか。

1. 脊髄前角
2. 歯状核
3. 中脳水道周囲灰白質
4. 赤核

第 27 回 問題 145 分類：伝導路

痛覚の二次性ニューロンが上行するのはどれか。

1. 内側毛帯
2. 脊髄前側索
3. 脊髄背側索
4. 脊髄後索

第 26 回 問題 144 分類：伝導路

小児鍼による触圧刺激に対して最も順応の早い受容器はどれか。

1. パチニ小体
2. メルケル盤
3. 毛包受容器
4. ルフィニ終末

第 26 回 問題 145 分類：伝導路

鍼刺激を行った際に細径感覚神経線維が興奮したことを示すのはどれか。

1. アロディニアの発現
2. 刺入抵抗感の減少
3. しびれるような響き感覚の発生
4. フレアの出現

第 25 回 問題 148 分類：伝導路

鍼の重だるい響き感覚を伝える神経線維はどれか。

1. $A\beta$
2. $A\delta$
3. B
4. C

第 23 回 問題 148 分類：伝導路

刺鍼した際の重だるいひびき感覚を伝える主な神経線維はどれか。

1. I 群
2. II 群
3. III 群
4. IV 群

第 22 回 問題 147 分類：伝導路

鍼刺激とその反応との組合せで正しいのはどれか。

1. 雀啄術による響き—B 線維の興奮
2. 鍔鍼刺激—高閾値機械受容器の興奮
3. 管散術による刺激— $A\delta$ 線維の興奮
4. いちよう鍼による擦過刺激—ポリモーダル受容器の興奮

第 21 回 問題 147 分類：伝導路

鍼刺激によるポリモーダル受容器の興奮を伝える神経線維はどれか。

1. $A\alpha$
2. $A\beta$
3. B
4. C

第 21 回 問題 148 分類：伝導路

管散術の刺激を伝える神経線維はどれか。

1. $A\alpha$
2. $A\beta$
3. $A\gamma$
4. $A\delta$

第 19 回 問題 147 分類：伝導路

鍼刺激による鈍い響き感覚を伝える脊髄内伝導路はどれか。

1. 後索路
2. 皮質脊髄路
3. 脊髄視床路
4. 錐体路

第 28 回 問題 150 分類：鎮痛

鍼の末梢性鎮痛効果に最も関与するのはどれか。

1. アドレナリン受容体
2. ムスカリン受容体
3. ヒスタミン受容体
4. アデノシン A_1 受容体

第 27 回 問題 148 分類：鎮痛

下行性痛覚抑制系において、脊髄後角で痛覚を遮断する物質として最も適切なものはどれか。

1. ドパミン
2. グルタミン酸
3. ロイコトリエン
4. ノルアドレナリン

第 26 回 問題 149 分類：鎮痛
持続効果の長い鎮痛系の賦活を期待して鍼通電療法を行う場合、通電周波数として最も適しているのはどれか。

1. 5Hz
2. 20Hz
3. 50Hz
4. 100Hz

第 25 回 問題 150 分類：鎮痛
1Hz の鍼通電刺激で起こる鍼鎮痛の特徴について正しいのはどれか。

1. 主に II 群線維が関与する。
2. 効果の出現部位は施術部位と同じデルマトーム領域に限られる。
3. 鍼通電終了と同時に鎮痛効果は消失する。
4. 筋収縮が得られる刺激強度の方が効果が高い。

第 24 回 問題 147 分類：鎮痛
下行性痛覚抑制系による鍼鎮痛の特徴について正しいのはどれか。

1. 発現までに時間がかかる。
2. 大脳皮質感覚野で起こる。
3. 効果は刺激周囲に限られる。
4. 刺激終了後すぐに消失する。

第 23 回 問題 150 分類：鎮痛
鍼鎮痛の発現に関与する物質はどれか。

1. セロトニン
2. アセチルコリン
3. メラトニン
4. トロポミオシン

第 22 回 問題 148 分類：鎮痛
内因性オピオイドはどれか。

1. ニューロトロフィン
2. GABA（ガンマアミノ酪酸）
3. ダイノルフィン
4. ドパミン

第 21 回 問題 150 分類：鎮痛
鍼鎮痛に関与するのはどれか。

1. ヒスタミン
2. アンジオテンシン
3. オピオイドペプチド
4. プロスタグランジン

第 20 回 問題 149 分類：鎮痛
内因性オピオイドが主に関与するのはどれか。

1. ナトリウムポンプ
2. 下行抑制系
3. TCA サイクル
4. レニン・アンジオテンシン系

第 19 回 問題 148 分類：鎮痛
鍼麻酔の特徴について正しい記述はどれか。

1. 患者の意識は保たれる。
2. 鍼刺激開始直後から鎮痛効果が発現する。
3. Aβ 線維が関与する。
4. 鍼刺激終了直後に鎮痛効果が消失する。

第 19 回 問題 149 分類：鎮痛
下行性痛覚抑制系に関与するのはどれか。

1. 海馬
2. 脊髄背側索
3. 内側毛帯
4. 脊髄灰白質中間質

第 28 回 問題 148 分類：血流
刺鍼時のフレア形成に関与するのはどれか。

1. 脊髄後角でのガンマアミノ酪酸(GABA)放出
2. 交感神経節後線維の興奮
3. 軸索反射による CGRP 放出
4. 視床腹側基底核群の興奮

第 27 回 問題 146 分類：血流
鍼刺激による筋血流増加に関与しないのはどれか。

1. ポリモーダル受容器
2. α 受容体
3. CGRP
4. 一酸化窒素(NO)

第 26 回 問題 146 分類：血流
鍼刺激による筋血流の増加に直接関与しないのはどれか。

1. サブスタンス P
2. CGRP
3. オピオイドペプチド
4. 血管作動性腸ペプチド

第 24 回 問題 146 分類：血流
刺鍼局所に起こる神経原性炎症について正しいのはどれか。

1. ノルアドレナリンが関与する。
2. 単シナプス反射によって起こる。
3. 血漿蛋白が漏出する。
4. 皮膚のみで起こる。

第 22 回 問題 149 分類：血流
刺鍼により起こる軸索反射について正しいのはどれか。

1. 内因性オピオイドが関与する
2. 反射中枢は脊髄にある
3. 血漿が漏出する
4. Aβ 線維の興奮によって起こる

第 20 回 問題 148 分類：血流
鍼刺激による血流改善に関与するのはどれか。

1. 交感神経節後ニューロンの興奮
2. 軸索反射による CGRP の放出
3. 刺鍼部位でのセロトニンの遊離
4. 尾側延髄腹外側部の興奮

第 27 回 問題 147 分類：自律神経
体性－自律神経反射を利用して胃痛の治療を行う場合、刺鍼を行うデルマトームで最も適切なのはどれか。

1. Th1-Th4
2. Th5-Th9
3. Th11-L1
4. L2-L4

第 26 回 問題 147 分類：自律神経
四肢に鍼刺激を行うと、上脊髄性の自律神経反応が起きやすい理由として最も考えられるのはどれか。

1. 鍼刺激で興奮する感覚神経の分布密度が高い。
2. 入力する脊髄分節に自律神経節前ニューロンが少ない。
3. 筋肉が豊富である。
4. 神経叢から出た枝により支配される。

第 26 回 問題 148 分類：自律神経

次の文で示す施術結果の機序で正しいのはどれか。

「脊髄損傷患者に対し、仙骨部への鍼刺激を行ったところ排尿が促進した。」

1. 下腹神経が興奮した。
2. 脊髄分節性の反射が起こった。
3. 上位排尿中枢が興奮した。
4. 内臓一様性反射が起こった。

第 25 回 問題 149 分類：自律神経

次の文で示す研究から適切なのはどれか。

「ラットの足部への鍼刺激で迷走神経活動が亢進し胃内圧が上昇したが、内臓神経活動は変化しなかった。一方、腹部の鍼刺激では内臓神経活動が亢進し胃内圧が低下したが、迷走神経活動は変化しなかった。」

1. 足部刺激による作用は、体性一運動反射である。
2. 足部刺激では、上脊髄を介した反応が起こる。
3. 腹部刺激による作用は、副交感神経活動の抑制による。
4. 腹部刺激による作用は、内臓一内臓反射である。

第 24 回 問題 148 分類：自律神経

中脘への鍼刺激で胃運動が抑制される機序に関与するのはどれか。

1. 下腹神経
2. 大内臓神経
3. 骨盤神経
4. 迷走神経

第 21 回 問題 149 分類：自律神経

「足三里穴に鍼刺激を行ったら胃の運動が亢進した。」作用機序について正しい記述はどれか。

1. アドレナリン作動性神経 β 受容体を介する。
2. 上脊髄反射である。
3. 骨盤神経を介した反射である。
4. 求心路には伏在神経が含まれる。

第 27 回 問題 149 分類：関連学説

キャノンが提唱した緊急反応において副腎髄質で作用する受容体はどれか。

1. α 受容体
2. β 受容体
3. ニコチン受容体
4. ムスカリン受容体

第 27 回 問題 150 分類：関連学説

ストレス学説において初めに加えられたストレッサーに対してのみ有効な抵抗を現す時期はどれか。

1. ショック相
2. 反ショック相
3. 交絡感作期
4. 疲憊期

第 26 回 問題 150 分類：関連学説

「内部環境」という用語で恒常性について述べた人物はどれか。

1. ノーバート・ウイナー
2. クロード・ベルナール
3. ウォルター・キャノン
4. ハンス・セリエ

第 24 回 問題 149 分類：関連学説

サイバネティックスと関連するのはどれか。

1. 条件づけ
2. フィードバック機構
3. 緊急反応
4. 交絡抵抗

第 24 回 問題 150 分類：関連学説

ストレス学説で交絡抵抗が現れる時期はどれか。

1. ショック期
2. 抗ショック期
3. 抵抗期
4. 疲憊期

第 23 回 問題 149 分類：その他

筋けいれんに対する鍼治療の目的はどれか。

1. 鎮静作用
2. 転調作用
3. 防衛作用
4. 矯正作用

第 22 回 問題 150 分類：その他

トリガーポイントの発現に直接関与するのはどれか。

1. 侵害受容器の感作
2. 筋血流の増加
3. 副交感神経活動の亢進
4. 内因性オピオイドの遊離

第 20 回 問題 150 分類：その他

鍼治療による生体防御反応に最も関係するのはどれか。

1. アセチルコリン遊離
2. 体性一内臓反射
3. サイトカイン産生
4. パチニ小体興奮

第 19 回 問題 150 分類：その他

右腓腹筋の緊張が亢進しているとき、右承山に刺鍼したところ筋緊張が軽減した。関与したと考えられるのはどれか。

1. 相反抑制
2. 屈曲反射
3. 自原抑制
4. 伸張反射